

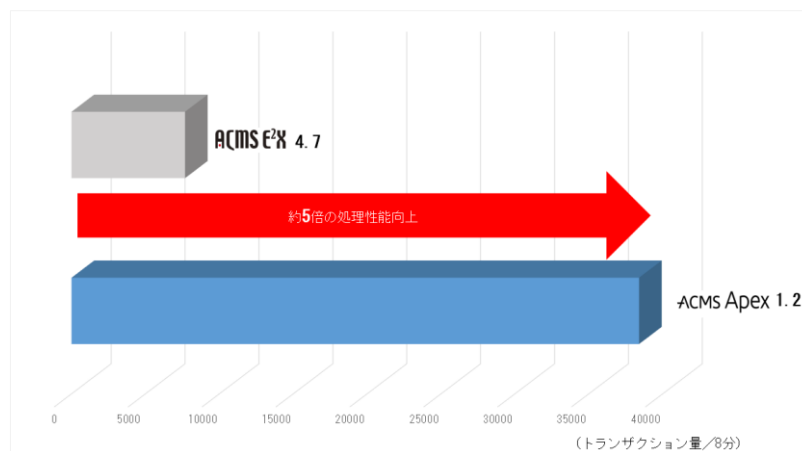
エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」の最新版を発売 ～少量多頻度データの処理性能が既存製品と比べ約5倍向上、高速化を実現～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、既存の業務アプリケーション資産を生かしつつ、単一ソフトウェアで、セキュアかつ可用性の高いデータ連携基盤を容易に構築するエンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex（エーシーエムエス エイペックス）」の最新版 バージョン 1.2 を、2017年12月28日より販売開始します。

最新版では既存製品である統合 EDI 製品「ACMS E²X」・「ACMS B2B」と比較し、一定時間における少量多頻度データの処理性能が約5倍向上し、高速化を実現しました。（当社調べ）これにより、リアルタイムなデータ連携を実現し、正確かつ精度の高い情報提供が可能になります。

また、新たに ebXML MS 3.0 (JEITA) や BACREX 手順の通信プロトコルをサポートし、通信機能を強化しました。更に、管理データベースに PostgreSQL をサポート、運用管理のブラウザとして Google Chrome に対応しました。

【一定時間でトランザクションの処理量を比較】



「ACMS Apex」バージョン 1.2 での主な新機能は以下の通りです。

1. 少量多頻度データ処理の高速化

一定時間での少量多頻度データの処理性能を向上させ、高速化を実現しました。

2. 通信機能強化

- ・新たに通信プロトコルをサポート
 - ebXML MS 3.0 (JEITA)
 - BACREX 手順

電子機器業界では、NTT 東西による固定電話網の IP 網移行に伴い、EDI 標準の JEITA/ECALGA プロトコルとして、従来型 EDI の全銀 TCP/IP 手順に代わり、インターネット EDI の ebXML MS 3.0 の利用拡大が予想されることから、これに対応しました。また、株式会社サイバーリンクスの Web-EDI システム「BACREX」に対応した通信プロトコルもサポートしました。

3. 稼働環境の拡充

- ・管理 DB に新たなデータベースをサポート
 - PostgreSQL 9.5
 - PostgreSQL 9.6
- ・新たなブラウザをサポート
 - Google Chrome

4. 移行ツール/通信プロトコルの拡充に伴う追従

新しいプロトコルの拡充に伴い、当ツールを活用することで「ACMS Apex」への移行を更に促進します。

5. ブラウザ操作自動化ツール「ACMS WebAgent」と連携

Web-EDI で必要なブラウザ操作をスクリプトにより自動化するツール「ACMS WebAgent」との連携を可能にしました。これにより、「ACMS Apex」との統合運用が可能になり、ブラウザ操作にかかる工数を削減します。

DAL は今後、「ACMS Apex」をフラグシップ製品として、あらゆる業界のエンタープライズ企業およびサービス提供企業のデータ連携市場を対象にビジネスを推進していきます。

以上

◆ACMS Apex について

Web ページ : <http://www.dal.co.jp/products/di/apex/outline.html>

販売経路 : DAL のビジネス・パートナー72 社 (<http://www.dal.co.jp/partner>) を通じて販売

販売価格 : 60 万円～ (基本機能)

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】

DAL は、1992 年に最初の UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にシステム連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェアを自社開発し、国産ソフトウェアベンダとして EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立。2007 年 4 月にジャスダックに上場しました(JASDAQ: 3848)。

DAL の「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」は、国内 72 社のビジネス・パートナーを経由して販売され、すでに 2100 社 10000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」をはじめ、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築できる B2B サーバ「ACMS B2B」、企業内外のデータ連携を行う B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」など、システム規模・接続ニーズに応じた製品ラインアップを揃えています。また、システム連携では不可欠なデータのフォーマットや文字コードの変換・加工を行うデータ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」を 2014 年 3 月から提供しています。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, AnyTran, E2X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。